TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

力の福音：救いの兜

エフェソの信徒への手紙 6 章 17 節

2024 年 3 月 9 日 & 10 日
余沢 武 牧師

I. はじめに

こんにちは。エフェソの信徒への手紙では、クリスチャンは神にかたどって造られた新しい被造物であることを学びました。しかし、私たちまだ、不品行と怒りを捨て、謙遜と柔和さと従順な心を身につける必要があります。そして、私たちの敵である悪魔は、私たちを互いに争わせようとします。

パウロは、神の武具をとって、悪魔の策略に抵抗するようにと語ります：
1 番目は真実の帯―私たちの目的は「神にかたどって造られた新しい人」を示すことだと覚えておくこと。
2 番目、正義の胸当て―御言葉に従って、常に正しいことを行うこと。
3 番目、履物、平和の福音を告げる備え―自分の都合を捨て、無私の愛を示すこと。
4 番目、信仰の盾を手に取る―信仰によって、「神にかたどって造られた新しい人」を示す使命から気を取られないようにイエスに助けを求めること。

本日取り上げるのは 5 番目の武具―「救いの兜」です。まず、祈りましょう。

II. 救いの兜

(1)兜

エフェソ 6:17 を開いてください。こうあります。「**[17] また、救いの兜をかぶり、霊の剣、すなわち神の言葉を取りなさい。」**

今日は、前半部分「救いの兜をかぶり」を見ていきます。

「兜」ですが、ローマの兵士が使用したものは通常青銅製で、約 1 メートルの二刃の大剣から頭を守るために装備されました。この剣は頭蓋骨を砕くことができるほどの威力がありました。

この武具は、私たちの頭、心、思考、理解を守るものです。

「正義の胸当て」について学んだ際に、義を求めることで、私たちは神の視点から物事を見ることによって、自分の心と感情を守ることができると学びました。
一方で、「兜」が守ってくれるのは、私たちの人生に対する全体的な考え方です。

(2)救い

パウロは「救い」こそが、私たちの人生に対する全体的な考え方を守ってくれる「兜」だといいます。

聖書が「救い」について語るとき、次の 3 つのプロセスを指しています。

1 つ目は義認です。イエスが私たちの罪のために死んだことを信じ、主として従うことを決意すると、すべての罪が赦されます。罪のために私たちは決して罰せられません。義とされます。

2 つ目は聖化です。イエスに従うことを決意すると、聖霊を受けます。聖霊は神に従うための意志と力を与え、神にかたどって造られた新しい人になることを助けてくれます。徐々に、私たちは聖化され、自分の罪を脱ぎ捨て、神の性質を身につけるようになります。

3 つ目は栄化です。いずれイエスに会うとき、私たちの変化は完成されます。神にかたどって造られた新しい人、神の性質、神の栄光を完全に宿すようになります。これが栄化です。これが救いの最終目的です。永遠に神の臨在の中で神にかたどって造られた新しい人となります。

では、パウロが「救いの兜をかぶり」なさいと言う時、3つのプロセスのどれを指しているのでしょうか。エフェソの信徒への手紙では、この箇所(エペソ 6:17)の前に 3 回、「救う」あるいは「救い」という言葉が出てきます。

最初は エフェソ 1:13-14 です。「**[13] あなたがたも、キリストにあって、真理の言葉、あなたがたの救いの福音を聞き、それを信じ、約束された聖霊によって証印を受けたのです。[14] 聖霊は私たちが受け継ぐべきものの保証であり、こうして、私たちは神のものとして贖われ、神の栄光をほめたたえることになるのです。」**

ここでは、救いの福音を聞いて信じた時、私たちは聖霊を受けたと述べています。
聖霊が「証印」であるとは、私たちが永遠に神の民であることを意味しています。
聖霊が「保証」であるとは、聖霊を通して神の性質の一部を受け取り、いつか完全に神にかたどって造られた新しい人となることが保証されることを意味しています。

あとの2回はエフェソ 2 にあります。「あなたがたは恵みにより…救われたのです。」私たちが救われた過程のすべては恵みによってあることを意味しています。神の賜物で、私たちの力によるものではありません。

このようにパウロは、この手紙で救いは、栄化につながる聖化においての聖霊の役割を強調しています。

そのため、パウロが「救いの兜をかぶり」なさいと言うとき、「神の聖霊が私たちを神にかたどって造られた新しい人にしてくださることを理解しなさい」と言っています。

そして、聖霊の助けなしに自分の力で物事を行おうとするなら、私たちは失敗するでしょう。

小学校 6 年生の時、私たちはある日、体育館の掃除をすることになりました。先生はすべての部屋の鍵を開け、掃除できるようにしました。先生が出て行くと、私たちは入ったことのない隅にある小さな部屋に入りました。

中にはベンチプレスがあり、重りのついたバーベルがラックに置かれていました。皆さんも小学6年生の男の子だったらどうしますか？

一人の男子はすぐバーベルを持ち上げようとしました。少し持ち上げることができましたが、そっとラックに戻しました。次に別の男子も試して、同じようにしました。そして私の番になりました。バーベルの片側は持ち上げることができました。しかし、もう片方を持ち上げたとき、バランスを崩してしまったのです。

私はラックに戻そうとしました。片方はラックに乗せられましたが、もう片方はできませんでした。そしてどんどん下がっていきます。ベンチプレスの隣には、壁に取り付けられたシンクがありました。「ヤバい、ぶつかる」と思いました。でも、ぶつかるだけではなく、崩れ落ちました。

他の男子たちは大声を上げて叫びました。先生が来て、ようやく手伝ってもらってラックに戻せました。その間ずっと、私は全力で戻そうと頑張っていましたが、できませんでした。これは私の努力が足りなかったせいではありません。単に私に力がなかっただけです。

これはクリスチャンが自分の力で罪を止めようと頑張る時の姿です。失敗します。それは努力不足なのではなく、単に力不足です。不道徳な関係であれ、ポルノであれ、怒りであれ、赦せない心であれ、私たちはただ、助けを受けるまでやめることができません。

だからこそ、神は私たちに聖霊を与えてくださり、その助けによって、自分の力だけでできなかったことができるようになります。あの日、私は学びました。私はあの重りを持ち上げられるほど強くありませんでした。もっと強い人の助けが必要でした。私たちは聖霊の助けを必要としています。

(3)人生における試練

あの出来事、試練、がなければ、私は自分がどれほど弱く、どれほど自分より強い人の助けに頼る必要があるかわからなかったでしょう。こうやって、神様は試練を与えて私たちの罪深さを見せるのは、私たちが聖霊の助けに頼って神にかたどって造られた新しい人に成長するためです。

周りの人がいつも優しかったら、自分に赦せない性質があることに気づくこともありません。赦せるようにと聖霊に助けを求めることもないでしょう。そして、赦せない性質は絶対に変わりません。

しかし、もし誰かに傷つけられたら、自分は怒ったり赦せなくなったりすることは容易に想像できます。そうしたら、自分の中にある罪に気づき、神に赦しと、神にかたどって造られた新しい人に変わるための助けを求めます。

性的不道徳も同じです。私たちの中の罪深い欲望を引き起こすものがなければ、自分の中にある不道徳な心を知ることはありません。聖霊に自分が聖なる者となるよう助けを求めることもありません。そして、不道徳な心は絶対に変わりません。

しかし、もし何か、または誰か引き金となって私たちの中に不道徳な欲望を抱かせるなら、自分の中にある罪を認識し、神に赦しと、神にかたどって造られた新しい人に変わるための助けを求めます。

クリスチャンの成長は、数学の教師が生徒に数式を教えることに似ています。ある時点で、その数式を使って解く問題をだします。最初は苦戦するでしょう。

しかしその後、生徒たちは数式に数字を当てはめることを学びます。驚くことに、正しい答えがでます。それから別の問題に挑戦します。これを繰り返えすうちに、自然にできるようになります。そして問題が解けるようになり、成長します。

同じように、クリスチャンには成長の方程式が与えられます。私たちは、聖書を通して神の基準を学び、神の聖霊に頼って従い、神にかたどって造られた新しい人となれるように助けてもらいます。最初は苦戦するでしょう。

そこから、クリスチャンは聖書を読むこと、聖霊の助けを求めることを生活に取り入れることを学びます。驚くことに、私たちは変化を経験します。そして別の試練にあい続けます。それを繰り返すうちに、聖書と聖霊の助けによって罪を克服することが自然にできるようになります。そのように、神にかたどって造られた新しい人に成長するのです。

しかし、もし苦戦している時点で心を評価されたらどうなるでしょうか。これは悪魔が私たちを落胆させるやり方です。悪魔は、私たちがどれほど汚れて、憎しみがあって、赦す心がないことを指摘します。

そして、もし私たちが、救いの福音を忘れてしまったら、自分のことを劣っているクリスチャンだと思うでしょう。 そして、変わることを期待することをやめて、聖霊に助けを求めることもやめるでしょう。結果として、私たちは救いを通して生きる人生を経験することができません。

パウロは言います。「救いの兜をかぶり」なさい。神の聖霊が私たちを神にかたどって造られた新しい人と変わるように助けてくれていることを理解しましょう。聖霊は私たちを助けるために準備万端です。これが救いなのです。

(4)まとめ

ある人は救いの目的は天国に行くことで、神にかたどって造られた新しい人になるのは二次的結果に過ぎないと考えています。全く逆です：救いの目的は神にかたどって造られた新しい人になることであり、天国にいけることはボーナスです。

救いによって生きる人生が、いずれ天国に行くためのものなら、今も明日も今後も楽しみにすることはあまりありません。しかし、救いによって生きる人生が、神にかたどって造られた新しい人、神の子となること、神の御臨在にある喜びと命を経験することが中心であるなら、今日から始まることです。明日はさらにもっと良くなります。そして、その翌日はさらにさらに良くなります。救いの喜びは日に日に大きくなります。

この目的のために、私たちは聖霊を受けました。もし、これが私たちの人生の中心ではなく、毎日の喜びや期待ではなく、毎日の人生の目的でないなら、悪魔に惑わされています。救いの兜をかぶりましょう。

あなたがクリスチャンでなくても、イエスを主、救い主として受け入れることで、今日、救いを受けることができます。そして、聖霊の働きによって、神にかたどって造られた新しい人になっていき、生きる喜びがあなたの中で日々増していくことでしょう。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg1124jp

★クラス 402
教会員になるためのクラス
3 月 10 日（日）1:00pm - 5:00pm
参加条件: クラス 101 まで修了した TBC 教会

★クラス 210
SG について
4 月 14 日（日）1:00pm - 5:00pm
参加条件: どなたでも

https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．日本語字幕オペレーター

月 1,2 回～各礼拝の時間の日本語字幕のページを矢印キーで押していく作業。コンピュータースキルはいりません。

スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2．日本語訳字幕作成

月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。

Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1,2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。

スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3．週末礼拝メッセージ翻訳

1 か月半に 1 度くらいのペース

自宅での作業になります。

英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。

スキル：英語と日本語が堪能な方

4．日本語訳レイアウト＆印刷（女性募集）

月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。

MS Word を使用してひな形に入れてレイアウトし印刷します。

スキル：MS Word の簡単な操作ができる方。英語のスキルは必要ありません。

*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org